

2025年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

持続可能な農業への貢献

減農薬・減肥料・スマート農業

原料でん菜における減農薬・減肥料・スマート農業等による省人省力化

- ◆主な取り組み
- ・ 直播導入の推進による化学肥料施肥量の削減
 - ・ 除草時間短縮に寄与する除草剤耐性品種の導入
 - ・ 病害抵抗性の高い品種の導入と抵抗性を活用した防除体系の導入

◆2030年度目標	◆2025年度目標	◆2025年度実績	◆達成状況
①化学肥料施用量削減率10%（2016年度比） ②農薬使用量削減率10%（2019年度比） ③耕起・防除・除草に関わる 投下労働時間削減率20%（2019年度比） ④栽培における炭酸ガス 直接排出量削減率6%（2019年度比）	① 3% ② 2% ③ 6% ④ 4%	① 3% ② 2% ③ 6% ④ 4%	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い